(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第5911501号
(P5911501)

(45)発行日　平成28年4月27日(2016.4.27)　(24)登録日　平成28年4月8日(2016.4.8)

(51)Int.Cl.		F I	
A61K 8/97	(2006.01)	A61K	8/97
A61Q 19/10	(2006.01)	A61Q	19/10
C11D 3/382	(2006.01)	C11D	3/382

請求項の数 3　(全 7 頁)

(21)出願番号	特願2013-538029(P2013-538029)
(86)(22)出願日	平成23年3月18日(2011.3.18)
(65)公表番号	特表2013-543848(P2013-543848A)
(43)公表日	平成25年12月9日(2013.12.9)
(86)国際出願番号	PCT/CN2011/000450
(87)国際公開番号	WO2012/088733
(87)国際公開日	平成24年7月5日(2012.7.5)
審査請求日	平成25年5月13日(2013.5.13)
(31)優先権主張番号	201010618186.9
(32)優先日	平成22年12月31日(2010.12.31)
(33)優先権主張国	中国(CN)

(73)特許権者　511168143
ウルムチ　イージーハオ　バイオテクノロジー　カンパニーリミテッド
ＵＲＵＭＱＩ　ＹＩ　ＺＨＩ－ＨＡＯ　ＢＩＯＴＥＣＨＮＯＬＯＧＹ　ＣＯ．，ＬＴＤ．
中華人民共和国　８３００００　シンチャン　ウイグル自治区ウルムチ市　ティエンシャン区　ウェンイーロード　ハンフーマンション　Ｂ棟　５０３号
８３００００ Ｒｏｏｍ ５０３，Ｔｏｗｅｒ Ｂ，Ｈｅｎｇｆｕ Ｍａｎｓｉｏｎ，Ｗｅｎｙｉ Ｒｏａｄ，Ｔｉａｎｓｈａｎ Ｄｉｓｔｒｉｃｔ，Ｕｒｕｍｑｉ，Ｘｉｎｊｉａｎｇ Ｕｙｇｕｒ
最終頁に続く

(54)【発明の名称】一枝蒿の抽出物の新たな用途方法

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
一枝蒿の抽出物を含む洗浄用液であって、該一枝蒿の抽出物は、（１）一枝蒿に対し該一枝蒿の体積の１０倍の水を入れて２時間の一次煎を行い、（２）一枝蒿の体積の８倍の水を入れて２時間の二次煎を行い、（３）粕を捨てた液体を６０℃に冷却し、（４）冷却された液体を該液体と水の体積比１：２５で希釈し、（５）該希釈溶液をマクロ多孔性樹脂で３０分間吸着し、（６）該吸着された溶液を該マクロ多孔性樹脂の体積の１０倍の容量の７０％エタノールで溶出し、（７）溶出されたエタノール溶出液から６０℃以下でエタノールを回収して濃縮することにより、
（８）比重が１．２０～１．４０になった
一枝蒿の抽出物であり、
かつ、該一枝蒿の抽出物の重量含有率が０．０５～２．２５％であることを特徴とする洗浄用液
【請求項２】
前記一枝蒿の抽出物の重量含有率が０．１～１．５％であることを特徴とする請求項１に記載の洗浄用液
【請求項３】
前記一枝蒿の抽出物の重量含有率が０．５％であることを特徴とする請求項１に記載の洗浄用液
【発明の詳細な説明】

【技術分野】
【０００１】
本発明は、洗浄液の製作分野に関し、特に、ある一枝蒿の抽出物の新たな用途方法に関する。
【背景技術】
【０００２】
新疆一枝蒿（Ａｒｔｅｍｉｓｉａ　ｒｕｐｅｓｔｒｉｓ　Ｌ．）は、新疆独特なウイグル族医学常用の生薬である。海抜１０００～３０００メートルぐらいの山地で育ち、多年生草本、蓬属（Ａｒｔｅｍｉｓｉａ　Ｌ．）、キク科（Ｃｏｍｐｏｓｔｉａｅ）の一つの植物である。アントキサンチン類、ケト酸類、グリコシド類、アミノ酸類、多糖類、セスキテルペン類、揮発油類、ポリペプチドとアルカロイドなど活性成分を含み、一枝蒿のフラボノイドは抗がん、抗酸化、肝臓保護、抗菌、小腸の平滑筋活動などを促進することができる。従来技術において、一枝蒿の抽出物は広く生薬に応用されているものの、洗浄液に応用することは今まで知られておりません。
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
本発明は現在の技術不足を補うことを目的とし、一枝蒿の抽出物の新たな用途方法を提供する。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
前記技術問題を解決するために、以下のような方案を採用する。
【０００５】
一枝蒿の抽出物の新たな用途方法であって、洗浄液に応用したことを特徴とする。
【０００６】
さらに、前記洗浄液は洗浄エキスであり、前記一枝蒿の抽出物は前記洗浄エキスにおける重量含有率が０．１～１．５％である。
【０００７】
また、前記一枝蒿の抽出物は、前記洗浄エキスにおける重量含有率が０．５％であることが好ましい。
【０００８】
前記洗浄液はハンドソープであり、前記一枝蒿の抽出物は前記ハンドソープにおける重量含有率が０．０５～２．２５％である。
【０００９】
さらに、前記一枝蒿の抽出物は、前記ハンドソープにおける重量含有率が０．５％であることが好ましい。
【発明を実施するための形態】
【００１０】
本発明に記載した前記一枝蒿の抽出物は以下の方法により抽出される。
【００１１】
一枝蒿を洗ってから角切りにし、それぞれに一枝蒿の体積の１０倍の水を入れて第一次に煎じ、２時間続けた後、再び水を一枝蒿の体積の８倍まで入れて第二次に煎じ、同様に２時間経てからその粕を捨て、出来上がった液体を６０℃に冷却し、その液体と水の体積比例を１：２５の希釈率で希釈し、出来上がった希釈溶液をマクロ多孔性樹脂で３０分間吸着し、又、７０％エタノールで溶出液を溶出する。エタノールの体積容量は、樹脂の体積の１０倍とし、溶出流速を３ｍｌ／ｍｉｎとし、出来上がった溶出液を６０℃以下で濃縮して回収し、エタノールが１．２０～１．４０の相対密度に達して一枝蒿の抽出物が出来上がる。
【００１２】
一枝蒿の抽出物を洗浄エキスに応用する場合の製作方法は以下の通りである。

【００１３】
鍋に純水及びドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム（Ｃ１２）を入れ、加熱しながら７３～７８℃まで撹拌し、そして、水酸化ナトリウム水溶液を入れて均一に撹拌し、水酸化ナトリウムが完全に溶解した後、７３～７８℃の温度でヤシ油ジエタノールアミンを入れて均一に撹拌し、４０～４５℃に冷却し、撹拌しながら、チャムソウル抽出液、一枝蒿の抽出物、二重イミダゾリジニルウレア、日用香料、クエン酸を入れ、４０～４５℃の状況で均一に撹拌し、サンプリングにより検測する。
【００１４】
一枝蒿の抽出物をハンドソープに応用する場合の製作方法は以下の通りである。
【００１５】
鍋に純水とラウレス‐（１‐４）硫酸アンモニウムを入れ、加熱しながら７３～７８℃まで撹拌し、ココイル‐ベタインを入れ、７３～７８℃の温度で均一に撹拌し、ココイル‐ベタインが完全に溶解した後、ヤシ油ジエタノールアミンを入れ、７３～７８℃の温度で均一に撹拌し、４０～４５℃に冷却し、グリセリン、チャムソウル抽出液、一枝蒿の抽出物、二重イミダゾリジニルウレア、日用香料を入れながら撹拌し、４０～４５℃に保ち、１時間撹拌してから、クエン酸のＰＨを６～７に調節し、サンプリングにより検測する。
【００１６】
一枝蒿の抽出物はある植物の抽出物で、インフルエンザウイルス、各細菌を抑制でき、過敏症を抑制する。本発明は一枝蒿の抽出物を洗浄液に応用すると、皮膚を清潔にするだけでなく、ウイルス、細菌及び過敏も抑制され、皮膚を保護、潤す効果がある。
【実施例１】
【００１７】
実施例１は、一枝蒿の抽出物を洗浄エキスに応用したものである。
【００１８】
具体的実施例において、一枝蒿の抽出物及び洗浄エキス中の他の成分の成分比は、表１（１００ｋｇの洗浄エキス中における各成分の重量）に示した通りである。
【００１９】

【表１】

名称	標準中国名	重量(ｋｇ)	用途
水	純水	80～90	溶剤
スルホン酸	トデシルスルホン酸ナトリウム	5～8	酸
６５０１ヤシ油	ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	1～5	増粘剤
水酸化ナトリウム	水酸化ナトリウム	0.5～2.0	アルカリ
恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	0.1～1.5	保湿剤
一枝蒿の抽出物	一枝蒿の抽出物	0.1～1.5	ウイルス、細菌及び過敏の抑制
クエン酸	クエン酸	0～1.5	ＰＨの調節
防腐剤	ジアゾリジニル尿素	0.05～1.0	防腐剤
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム	エチレンジアミン四酢酸(EDTA)二ナトリウム(2Na)	0.04～1.0	スタビライザー
香料	日用香料	0.05	香料

【００２０】
好適な分配比は、表２（１００ｋｇの洗浄エキス中における各成分の重量）に示した通りである。
【００２１】
【表２】

名称	標準中国名	重量(ｋｇ)	用途
水	純水	87.63	溶剤
スルホン酸	トデシルスルホン酸ナトリウム	7.0	酸
６５０１ヤシ油	ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	3.0	増粘剤
水酸化ナトリウム	水酸化ナトリウム	1.0	アルカリ
恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	0.5	保湿剤
一枝蒿の抽出物	一枝蒿の抽出物	0.5	ウイルス、細菌及び過敏の抑制
クエン酸	クエン酸	0.12	ＰＨの調節
防腐剤	ジアゾリジニル尿素	0.1	防腐剤
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム	エチレンジアミン四酢酸(EDTA)二ナトリウム(2Na)	0.1	スタビライザー
香料	日用香料	0.05	香料

【実施例２】
【００２２】
実施例２は、ハンドソープに応用したものである。
【００２３】
具体的実施例において、一枝蒿の抽出物及びハンドソープ中の他の成分の成分比は、表３（１００ｋｇのハンドソープ中における各成分の重量）に示した通りである。
【００２４】
【表３】

名称	標準中国名	重量(ｋｇ)	用途
水	純水	65.5～90.2	溶剤
アルキルエーテル硫酸塩(AES)アンモニウム塩	ラウレス(1-4)硫酸アンモニウム塩	3～12	界面活性剤
６５０１ヤシ油	ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	0.5～8.5	増粘剤
コカミドプロピルベタイン(CAB)アルキルジメチル	ココアルキルジメチルベタイン	0.1～6.7	気泡剤
クエン酸	クエン酸	1	ＰＨの調節
グリセリン	グリセリン	1	保湿剤
一枝蒿の抽出物	一枝蒿の抽出物	0.05～2.25	ウイルス、細菌及び過敏の抑制
恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	0.05～2.25	保湿剤
防腐剤	ジアゾリジニル尿素	0.1	防腐剤
香料	日用香料	0.1	香料

【００２５】
好適な分配比は、表４（１００ｋｇの洗浄エキス中における各成分の重量）に示した通りである。
【００２６】

【表４】

名称	標準中国名	重量（ｋｇ）	用途
水	純水	83.8	溶剤
アルキルエーテル硫酸塩(AES)アンモニウム塩	ラウレス(1-4)硫酸アンモニウム塩	6	界面活性剤
６５０１ヤシ油	ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	4	増粘剤
コカミドプロピルベタイン(CAB)アルキルジメチル	ココアルキルジメチルベタイン	3	気泡剤
クエン酸	クエン酸	1	ＰＨの調節
グリセリン	グリセリン	1	保湿剤
一枝蒿の抽出物	一枝蒿の抽出物	0.5	ウイルス、細菌及び過敏の抑制
恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	恰木吾尔(Qiamuwuer)採取液	0.5	保湿剤
防腐剤	ジアゾリジニル尿素	0.1	防腐剤
香料	日用香料	0.1	香料

フロントページの続き

(73)特許権者 511168143
ウルムチ イージーハオ バイオテクノロジー カンパニーリミテッド
URUMQI YI ZHI−HAO BIOTECHNOLOGY CO., LTD.
中華人民共和国 ８３０００ シンチャン ウイグル自治区ウルムチ市 ティエンシャン区 ウェンイーロード ハンフーマンション B棟 ５０３号
８３０００ Room 503, Tower B, Hengfu Mansion, Wenyi Road, Tianshan District, Urumqi, Xinjiang Uygur Autonomous Region, China
(74)代理人 100127166
弁理士 本間 政憲
(74)代理人 100118267
弁理士 越前 昌弘
(72)発明者 ジン リピン
中華人民共和国 ８３０００ シンチャン ウイグル自治区ウルムチ市 ティエンシャン区 ウェンイーロード ハンフーマンション B棟 ５０３号
(72)発明者 レイ ホン
中華人民共和国 ８３０００ シンチャン ウイグル自治区ウルムチ市 ティエンシャン区 ウェンイーロード ハンフーマンション B棟 ５０３号
(72)発明者 リ ナ
中華人民共和国 ８３０００ シンチャン ウイグル自治区ウルムチ市 ティエンシャン区 ウェンイーロード ハンフーマンション B棟 ５０３号

審査官 森井 隆信

(56)参考文献 特開２００２−２２６３８６（ＪＰ，Ａ）
特開２００２−２１２００９（ＪＰ，Ａ）
米国特許出願公開第２０１０／００８７５２３（ＵＳ，Ａ１）
YONG et al., Synthesis of Rupestonic Acid Amide Derivatives and in vitro Anti-influenza A3, B and Herpes Simplex Type I and II Viruses, Chinese Journal of Organic Chemistry, 中国, Shanghai Institute of Organic Chemistry, Chinese Chemical Society, ２００８年, Vol.28, Issue 10, pp.1807-1812

(58)調査した分野(Int.Cl., ＤＢ名)
Ａ６１Ｋ ８／９７
Ａ６１Ｑ １９／１０
Ｃ１１Ｄ ３／３８２
ＪＳＴＰｌｕｓ／ＪＭＥＤＰｌｕｓ／ＪＳＴ７５８０（ＪＤｒｅａｍＩＩＩ）
ＣＡｐｌｕｓ／ＭＥＤＬＩＮＥ／ＥＭＢＡＳＥ／ＢＩＯＳＩＳ（ＳＴＮ）